

人事労務管理講座

成功する経営者のための

16

社員の人事労務管理で問題の引き金になり最も重要かつ難しいのが、労働時間管理です。特に、社員が何か大きな事故に遭ったときは、人事労務トラブルの多くが労働時間にかかっています。この労働時間管理に起因しています。

労働基準監督署の中小企業に対する指導・勧告も、労働時間管理に関する法令違反やその不徹底を指摘しているものが圧倒的に多いといえます。

労働時間管理をおろそかにすると、「残業代不払いの問題」「働きすぎによる健康障害問題」など、さまざまな「労災」まできま

行政解釈や判例によるこの定義について理解している人は、経営者もと、労働時間とは「休憩時間を除いた実働時間を除いた実働時間を社員も、こくわずかといさし、また、実働時間と労働時間が現実には、労働者が現実には労働に従事している時間だけでなく、労働者の労働力が命令下におかれている時者の指揮命令下におかれ

トラブル防ぐ重要事項

が買物客のくるのを店内で待っている時間は、当然労働時間に含まれる「この定義にすぎません。お良いでしょう。

ブック：中央経済社。始業時刻前に会社に来て掃除をしたり、同じく終業時刻後に研修するなどの時間を未然に防止するだけでは、労働時間となく、社員の労働時間に

社員の労働時間管理 (上)

業時刻後に研修するなどの時間を未然に防止するだけでは、労働時間となく、社員の労働時間に

使用者の指揮命令下を再確認

対する意識を高め、生産性の向上やワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の両立)につなげていくことができず、生産性の向上については、目先わずかであっても、中長期的には企業体質を強め、ライバル企業に大きな差をつけることができます。

このように考えると、労働時間管理は、経営において大変重要な事項であることがお分かりいただけると思います。

次回は、経営者(管理者)が実施すべき、具体的な労働時間管理について、そのポイントをお伝えします。

【テライトコンサルディング代表社員 近藤圭伸】